

令和8年度 事業計画

1. 事業の背景と目的 10年後の香川県におけるケア人材不足に備え、持続可能な地域社会に貢献するための確固たる地域連携モデルの構築を目的とします。当法人は「“みんな”がつながるところを創る」を理念とし、医療的ケアが必要な乳幼児から高齢者までを包括するハブ拠点として活動してきました。本年度はこれまでの多世代交流や支援の実績を基盤に、より広域的かつ持続性のある事業展開を目指します。

2. 組織体制の強化 現在55名規模となった当法人において、創立者であるトップの当初の思いと、拡大に伴い入社してきた職員との間の温度差を埋めることが急務となっています。そのため、現場の若手職員の声を事業に反映させる「ボトムアップ型の業務改善」を本格的に始動させます。また、事業プランの優劣や客観的な妥当性を評価するため、伴走者（外部専門家）を選定し、組織の土台を強化しながらプロジェクトを推進します。

3. 具体的な事業内容

- 地域共生型サービスの拡充: 保護者が不在の際の支援として児童クラブを運営の充実、地域の子育て世帯のセーフティネットとしての役割を果たします。
- 座ってポッチャ交流大会など、多世代・障がい有無を超えた交流事業を継続します。
- 香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」の運営: 広域支援の要として、相談窓口の運営やコーディネーター研修、当事者家族（Men's Club等）、一時預かり支援事業等の孤立防止とネットワーク化を図ります。
- 包括的ケアの提供: 居宅介護、訪問看護、多機能型事業所を連携させ、在宅療養を支えるシームレスな支援を実施します。

事業予算・決算の特記事項（補足説明）

当法人の事業予算および令和7年度決算は、質の高い支援を継続するための「人への投資」を最重要視した構造となっています。職員55名の体制を維持・向上させるための人件費は、10年後の地域福祉を支える人材育成や、若手の声が反映されるボトムアップ型の職場環境改善に直結するものです。今後は、各種助成金等も効果的に活用しつつ、自主事業の収益基盤を強化し、外部の伴走者と共に中長期的な財務の健全性と持続可能性を高めてまいります。

令和8年度 香川県医療的ケア児等支援センター「ソダテル」研修・交流会



※内容については適宜変更の可能性があります

令和8年度 年間研修・交流会

月	日	研修・交流会 (■=研修会 ●=交流会)	対象者
4	22(水)	第4回四国四県医療的ケア児等支援センター 情報共有会 場所:霧の森交湯~館 研修室	四国四県医療的ケア児等支援センター 関連スタッフ
6	21(日)	●令和8年度医療的ケア児等家族交流会 場所:一般社団法人 在宅療養ネットワーク	医療的ケア児等の父親
6	28(日)	■令和8年度 小児在宅医療従事者養成研修会 場所:香川大学医学部	地域で生活する医療的ケア児者に関わる医師・看護師
7	25(土)	●シットボッチャ交流大会(主催:在宅療養ネットワーク) 場所:あなぶきアリーナ(サブアリーナ)	地域のみなさま
9	17(木)	■第5回 医療的ケア児等の退院支援・ フォロー事例を通して 意見交換会 場所:かがわ総合リハビリテーションセンター	保健師、母子保健コーディネーター、医療的ケア児 等コーディネーター、子育て支援コーディネーター、 その他医療的ケア児等の相談窓口になると思われ る方
10	14(水)	■令和8年度 医療的ケア児等にかかる担当者合同会議 場所:かがわ総合リハビリテーションセンター	障害福祉、子育て支援、教育、保健、医療 各分野の医療的ケア児担当者 (対象者に通知)
11	13(金)	第6回 県境なき医ケアセンター会 場所:徳島赤十字ひのみね医療療育センター	県境なき医ケアセンター会 関連スタッフ
11	21(土)	●トヨタカローラ防災イベント【中讃西地区】 場所:トヨタカローラ善通寺店	当事者・家族 個別避難計画に関わる支援者 (対象者に通知)
12	8(火) 9(水)	■令和8年度 医療的ケア児等支援者・コーディネーター養成研修 オンデマンド+集合研修 ・支援者養成研修→オンデマンド+集合研修(半日) ・コーディネーター養成研修→オンデマンド+集合研修2日 間 場所:かがわ総合リハビリテーションセンター ※オンデマンド講義視聴は10-11月中	医療的ケア児に関わる全ての方 (※ただし、相談支援専門員、行政担当窓口、医療 的ケア児に関わる方を優先します)
12	21(月)	■令和8年度 医療的ケア児等コーディネーター フォローアップ研修 場所:かがわ総合リハビリテーションセンター	医療的ケア児等コーディネーターを有する相談支 援専門員等
1	18(月)	■ペースト食対応に関する研修	香川県内旅館業関連向け
2			